

ひがし

No. 233

'55 4 / 20

人口の動き

— 3月末住民登録人口から

世帯数	947	世帯
人口	3,776	人
転入	17	人
転出	75	人
出生	4	人
死亡	6	人

先月と比較して 60人減
昨年と同月と比較して 57人

広報

しらかわ

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村

■ 編集 / 総務課

■ 印刷 / 関市中部印刷

バス通学も

楽しいな

待望の東白川小学校が4月7日に開校しました。

初めてバス通学を経験するこどもたちは多いものの、徒歩通学とはちよっぴりちがった楽しさもあるようです。

一元気よくスクールバスに乗り込むこどもたち。

東白川中学校前で



おもな内容

- 昭和55年度予算のあらまし……P 2～4
- 村職員の人事異動……P 5
- 消防入退団式のもよう……P 6
- 東中の卒業式……P 7
- 春の教職員人事……P 8
- 越原小1年生がガリバーを製作……P 9
- 母の日にプレゼントを……P 10
- 村誌編さん室だより……P 11
- トピックス……P 12
- けいじ板はP 6～8の下欄

昭和55年度予算

新しい村づくりを重点に

総額で十五億八千七百九十二万三千元

三月十五日に招集された定例村議会で、昭和五十五年予算（一般・特別会計あわせて十五億八千七百九十一万三千元）が成立しました。昭和五十五年予算は、昨年当初と比べ全体で約二・九％の増、一般会計では約一％の減となりました。一般会計で減額となったのは、この四月開校した東白川小学校の建設工事費などの教育費が一億二千万円余り減ったことなどがおもな理由です。本号ではことしの予算のあらましを説明します。（詳細は議会報で紹介いたします）

歳入

一人当たりの村税は
約二万七千円に

歳入はグラフIでおわかりのように、今年度も依存財源が圧倒的に多く全体の約八一・二％を占めています。村独自で確保する自主財源は依然として三割自治のワタを超えられない現状です。

みなさんにとっていちばん気にかかるところは、総額で一億二千九十一万八千六百六十円で、これは一人当たり換算すると約二万七千円となっています。

昨年当初の歳入と比較し、いちばん増えているのは地方交付税で三千七百万円、逆に減ったのは国庫支出金で五千二百九十三万円で、

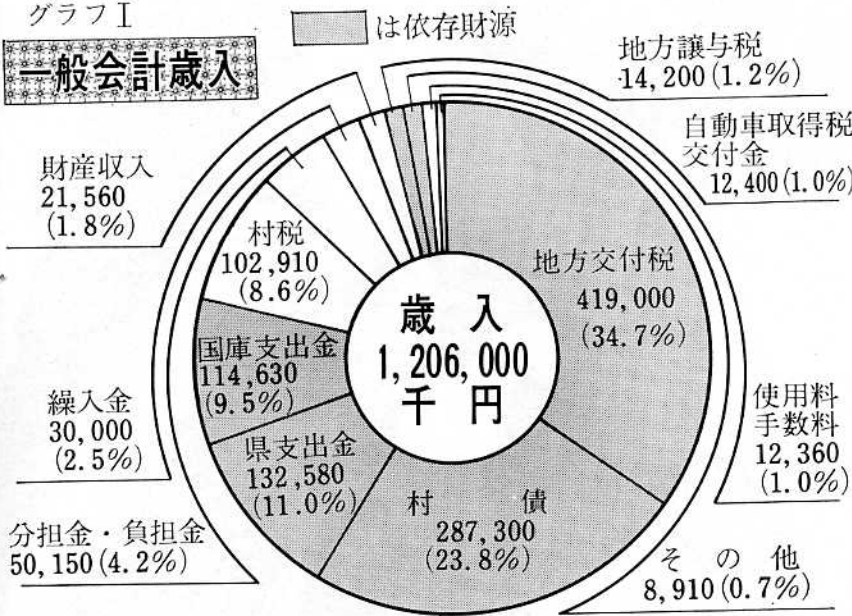
地方交付税は、地方公共団体が一定の行政水準を確保するため、それぞれの団体の収入と財政状況に応じて国から交付されるもので、今年度は昨年を上回る約三四・七％金額にして四億一千九百万円が見込まれています。

昨年に比べ減った国庫支出金は、東白川小学校の建設事業が完了（附帯工事を残すの

み）したために補助金が減少したことが理由にあげられます。

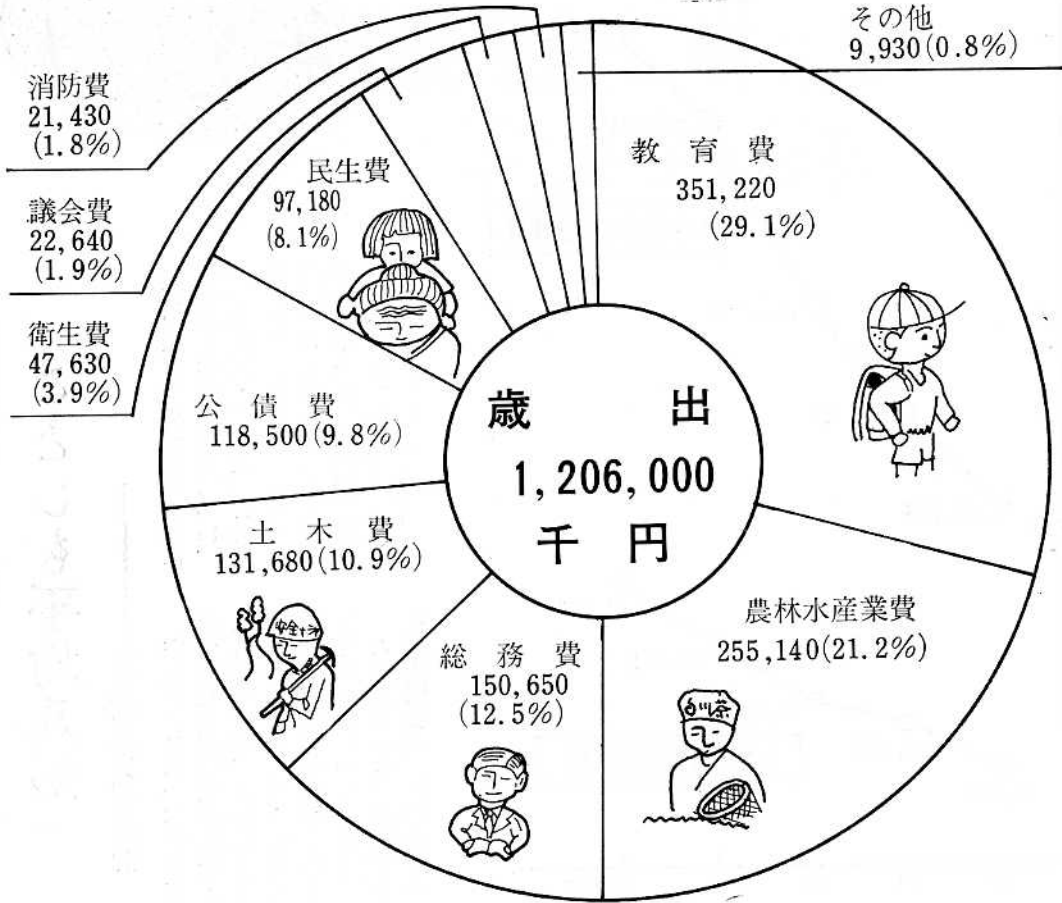
グラフ I

一般会計歳入



一般会計歳出

グラフⅡ



歳出

体育館、プールの建設に

2億3,043万5千円を計上

今年度一般会計予算の歳出概要はグラフⅡのようになります。総額では昨年より一千万円少ない厳しい予算となっていますが、農林水産業費のうち、昭和五十五年を初年度とする第三期山村振興事業として越原・五加小学校の廃校跡地を山村ひろばに建設する計画があり、その工事費六千八十五万九千円を計上しています。土木費では、神土角領線の道路改良工事ほか七工事に九千三百万円を予算化するなど

このほ場整備事業の計画にともない、役場の機構も変わり、産業振興課には新たに土地改良係が設けられることになりました。

ほ場整備事業は、水稲はもちろん、それ以外の農産物生産による所得の確保、労働条件の改善、生産性の向上、コストの引下げなど多くのメリットがあげられ、今後の本村を位置づける施策として注目されます。

新しい村づくりを重点に見積られていることが特筆されます。

また、教育費は昨年より総額で一億二千万円余り減ってはいますが、東白川小学校への通学に必要なスクールバス購入費(大型二台・マイクロー一台)に千四百二十万五千円、体育館とプールの建設費に二億三千四百三十五万五千円などが計上され、今年度事業の中でめだつ存在となっています。

このほか、金額的には大きくはありませんが、本村の定住構想の基礎となる地場産業の振興費や、水田再編対策に対処するため、農業基盤整備事業としてほ場整備事業の研究費なども予算化されています。

1世帯当たりの保険料・医療費の推移 (単位:円)



特別会計

国民健康保険会計
 村の人口の約七割を対象に医療費の七割給付をはじめ、高額療養費・助産費などを給付する国民健康保険制度の会計は、ことしも老人医療費の無料化や各種福祉医療費助成の上昇によってさらに医療費が伸びています。

左のグラフは一世帯当たりの保険料と医療費の推移をみるもので、これによりますます過去五年間で医療費は約二倍、保険料は約三倍と大きくはね上がっています。この理由には、高額療養費や老人医療費の無料化という

保険料引き上げ
 ことしも平均八%

常勤医師増員で
 診療体制を強化

東白川病院は、立地条件や対象人口など不利な条件下で

新たな制度が組み入れられたことと各種検査料などが引き上げられたことがあげられます。千田市指土町の千田市。このグラフでおおむねのようになり被保険者であるみなさんからも納めていただく保険料は、医療費の三分の二に満たなく、依然として保険料の値上げを余儀なくされています。このようにしたことから、今年度も平均約八%、それぞれ世帯人員・構成・所得などによって異なります。値上げすることになり、またが責任民相互扶助の精神のもとに運営されているこの制度にご理解とご協力をお願いします。

奥平と後山の
 管理に50万円

この奥平と後山の管理に50万円が、分収造林会計に振り込まれた。分収造林会計は、村が契約により民有林に造林を行い、伐採時に一定の比率(村六割、土地所有者四割)で収益を分け、その保育管理に必要な経費で、半額ずつ分収造林契約面積は現在三十五畝で、奥平は奥平の除伐と後山の刈り、枝打ちなどの管理費に五米万円を計上している。

公的医療機関としての使命を果たすため、独立採算の経営を建て前として医療の適正に努めたが、今年度も千八百九十二万円の赤字予算となつていく。業務内容では、年間患者数を入院・外来あわせて延べ二万八千八百九十五人(一日平均入院十人、外来八十五人)を見込み、その医療収益を十億二千五百七十七万八千円見込んでいます。また、ことは常勤医師、外科田尻下孝夫先生(心臓)の増員で診療体制の強化を図り、みなさんの健康を守るために努力したい考えです。

村職員の人事異動

土地基盤整備に備えて 新たに土地改良係を設置

このほど役場の機構が一部改正され、それにとりもなる人事異動（四月一日付）が発表されました。

今回の機構改革で大きく変わったのは、行政組織簡素化の一環として企画広報課が廃止され、総務課所屬となったこと。また、前ページの予算説明の中でもふれた、土地基盤整備事業に備えて新たに土地改良係を設けて産業振興課所屬としたことなどです。

この機構改革により、総務課は行政・企画財政・税務の三つの係に、産業振興課は振興第一・振興第二・土地改良の三係となりました。

当分の間はみなさんにご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

四月一日付で異動した職員は次のとおりです。△（ ）内は前職▽

人事異動

課長級——病院事務局長
安江正夫（病院庶務係長）
有線放送協会出向 今井哲（病院事務局長）

係長級——行政係長 村雲寛（税務係長）
企画財政係

長 嶋倉捷司（総務係長）
税務係長 今井恒行（総務課主査）
振興第一係長 田口芳宏（振興係長）
振興第二係長 安江正彦（産業振興課主任）
土地改良係長 新田充（土木建設課主任）
総務課主査 高木正範（総務課主任）
土木建設課主査 村雲義英（土木建設課主任）

一般職員——
神土保育園主任保母 古田美佐子（五加保育園）
越原保育園主任保母 山口八恵子（神土保育園）
五加保育園主任保母 今井太恵子（神土保育園）
総務課 榎光一・松岡安幸（企画広報課）
産業振興課 安江弘企（総務課）
今井清高（民生課）
民生課 若井信江（病院事務局）
病院事務局 今井桂子（民生課）
教育委員会出向 今井秋夫（総務課）

退職者

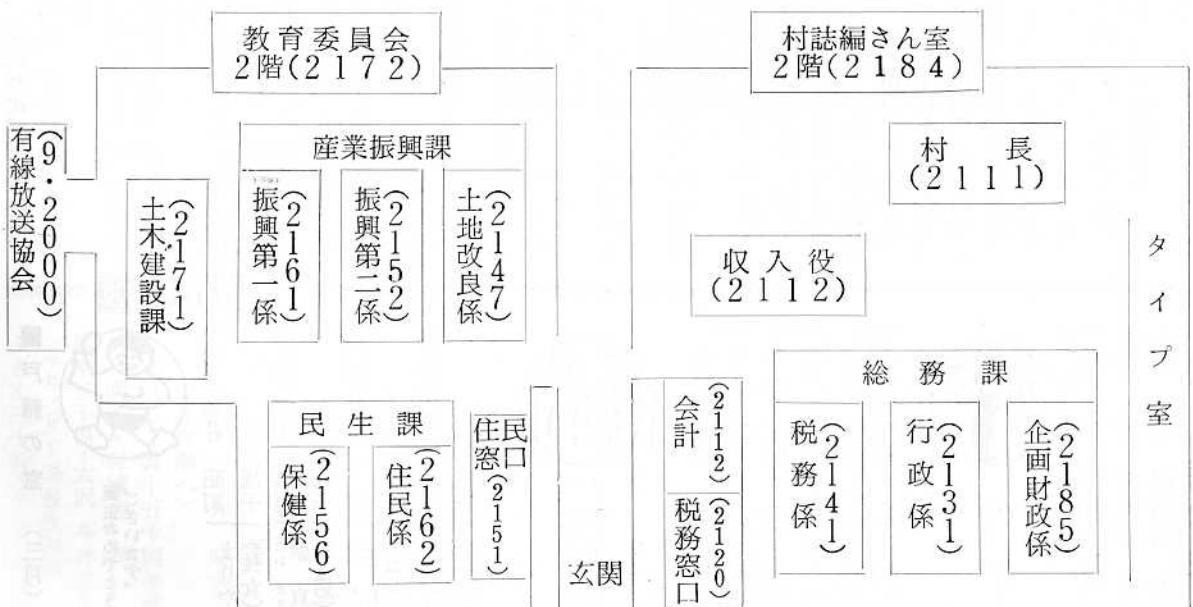
村雲康彦・寺坂はまゑ・安江ますゑ・中丸とめ・今井美津子・今井重子

新規採用

田尻下孝夫・若井信一・松岡公男・村雲久夫・大坪徳子・三戸美穂・今井恵利子・今井佐枝子・安江昌子・中丸房子

各課の配置図

（ ）内は有線番号





退団者を代表し謝辞をのべる田口勝司さん
—総合運動場で

消防団入退団式 新団長に桂川さん

木村成人さんら36人が退団

三月二十三日、昭和五十五年度の東白川村消防団入退団式が総合運動場で行われました。ことしは、定年制の引き下げにより、退団者は三十六人。また、定数条例の改正により退団者より十人少ない二十六人が新入団しました。

長年木村の消防団活動に貢献された木村成人さん以下三十六人の退団者

に、村長からひとりひとりに感謝状と記念品が贈られ、長年のご苦労をねぎらうとともにその功績をたたえました。また、退団者を代表して田口勝司さんが謝辞をのべられました。

引き続き、正副団長任命・辞令交付が行われ、新団長には桂川耕輔さん、副団長には中島潮己さんと安江

力男さんが任命されました。また、新入団の二十六人には、桂川新団長から辞令が交付され、入団者代表安江一成さんが力強く宣誓しました。こうして昭和五十五年度の村の防災、防火の新体制が整いました。

入退団者は次のとおり

退団者

(敬称略)

団長—木村成人

副団長—田口勝司

分団長—村雲寛、嶋倉捷司

梅田典孝、安江眞一

副分団長—村雲次郎、山中

眞善美、栗本錠一、藤井一二

三、安江恭介、牧野三造

部長—古田季彦、大坪鉦明

村雲一仁、大岩俊逸、安江鉄

郎、古田武、加藤司郎、古田

徳、今井福次、今井春夫、菊

田節也、小林博、安江信一、

上田捷吾、曾我修、松岡勝司

安江明夫、高井産

班長—今井英俊、安江恒男

板垣和也、村雲春夫、安江正

人員—松岡政和

新入団者

第一分団—小池正憲、村雲

映司、安江修次、村雲正幸、田口和道、田口眞澄、今井光安江寛

第二分団—今井守、嶋田幸雄、今井日出明、今井大作、古田義英

第三分団—安江一成、嶋倉正明、村雲初夫、熊沢政尚、安江正隆、安江裕策、安江正大、安江雅信、安江庄三、松岡良典、今井忠春、松岡安幸安江裕尚

新年度幹部構成

団長—桂川耕輔(大明神)

副団長—中島潮己(平)、安江力男(下野)

本部長—安江貞行(訓練部長兼務—上親田)

ポンプ部長—桂川久己(大明神)

予防部長—安江誉(下親田)

本部係長—安江啓次(神付)

第一分団長—村雲巖美(中通)

同副分団長—安倍 徹(西洞)

新田 久(加舎尾)

第二分団長—今井 準(宮代)

同副分団長—山口直視(宮代)

第三分団長—安江輝行(黒濁)

同副分団長—嶋倉功(大明神)

安江忠昭(陰 地)

ラッパ隊長—村雲義己(神付)

同副隊長—安江政義(栃 山)

戸籍の窓 (三月)



誕生おめでとう
ございます。

(平) 藤井 昭司 (まりや)

(陰地) 安江 周子 (長女)

(西洞) 安江 忠昭 (崇真)

(日向) 安江 壽子 (二男)

(日向) 安江 恒子 (三女)

(日向) 安江 明雄 (将江)

(日向) 安江 英子 (二女)



いつまでも
おしあわせに

島倉 芳博 (西洞)

田口久美子 (上親田)

中嶋 正樹 (柏本)

安江 豊子 (平)

松岡 安幸 (陰地)

今井美香子 (宮代)



おくやみ
申しあげます

川尻栄太郎 69歳(大明神)

安江 ちゑ 87歳(陰地)

近藤 喜美 73歳(柏本)

東中の卒業式

新たな道に向かつて

83人が巣立ち

昭和五十四年度の東白川中学校卒業式が三月十三日に東白川体育館で行われました。ことし晴れの卒業式を迎え

たのは、昭和三十九年生まれ（昭和四十年生まれの一部を含む）の八十三人で、新たな希望を胸に巣立って行きました。



体育館で行われた卒業式のもよう

た。

卒業後の動向をみてみますと、進学者が五十三人、就職者十一人、就職進学者（各種専門学校も含む）十九人となっています。進学者のうち二十二人は白川高校へ進み、本村から通学しますが、そのほかの学生と就職者、就職進学者合わせて七割以上の人が転出することになります。

父・母子家庭の 中学校卒業者を激励

働く場がない……。といわれる本村の現状ですが、彼らが高校あるいは大学を出るこ

ろには、若者の働ける場を確保することが必要といえるようです。



村長から記念品を受ける父・母子家庭の中卒者ら
—中学校2階の相談室で

また、この日卒業式を迎えた父・母子家庭の親子を対象に、恒例の激励会が卒業式終了後、中学校二階の相談室で行われました。村長、母子福祉会長のあいさつと激励のことばに引き続き、村長から卒業生八人に記念品が贈られました。また、家族のみなさんへは母子福祉会長の林一己さんから花たばが贈られ、かわって父・母子家庭代表の安江ゆきさんが謝辞をのべられ、この催しを終えました。ことし対象となった八人、七家庭の生徒たちは、父と子、母と子というハンディキャップを乗り越え健やかにたくましく成長し、それぞれ新しい道へと進むわけですが、いつでも愛し、たくましく正しく育ってほしいものです。

けいじばん

- 安江やすの 88歳(下親田)
- 村雲二静雄 68歳(中通)
- 安江銀一 89歳(日向)
- 善意の寄付人敬称略▽
- (社会福祉費へ)
- 現金二万円 黒瀬 島倉勝己
- 現金二万円 平 松田 章
- 現金五万円 西洞 今井好美 (学校建設費へ)
- 現金五万円 柏本 近藤富雄
- 現金一万円 陰地 安江永吉
- 現金五万円 中通 村雲うめ
- 現金五万円 下野 寺坂はまゑ
- (交通安全対策費へ)
- 現金五万円 神付 安江正文 (東白川小学校へ)
- ぞうきん三十枚
- 陰地 安江 永吉
- ぞうきん百五十枚
- 陰地 田口まさよ
- 金属制校章一個
- 学校建設委員(十八人)
- (五加小児童へ)
- パンチ(穴あけ) 三十七個
- 五加区
- 風船(水素入り) 二百
- 柏本 今井 時夫
- (五加保育園へ)
- 絵本立て二脚 五十四年度
- 卒園児・保護者一同
- 絵本三十冊 大沢 今井好夫
- (センター栄養改善室へ)
- ふきん三十枚 平 田口恵壽

教職員の異動

五加小春田校長 5人が転出
越原小永田校長

ことしも四月一日付で県下の教職員人事異動が行われました。本村関係では、越原小学校長の永田静雄先生、五加小学校長の春田直一先生ら村の教育振興に大きな功績を残された九人の先生が転出されました。

これにかわり他町村から三人の先生が赴任され、村の学校教育をはじめ教育全般に尽力していただくことになりました。

今回の人事異動では、東白川小学校の開校にもなっています。

神土・越原・五加の旧小学校からの異動も含まれています。転出・転入・退職された先生がたは次のとおりです。
△敬称略▽

転出

(東白川中学校)
教諭 安江東海(双葉中へ)
(神土小学校)
教諭 三宅光次(兼山小へ)

〃 長尾直彦(可児郡東明小へ)
〃 片山久美子(養老郡上多度小へ)
(越原小学校)
校長 永田静雄(大野郡朝日小へ)
教諭 藤井千秋(黒川小へ)
〃 大野佳保里(太田小へ)
(五加小学校)
校長 春田直一(可児郡旭小へ)

教頭 藤吉 修(上麻生中へ)
退職
神土小用務員 寺坂はまゑ
転入

(東白川中学校)
教諭 佐橋正典(八百津中へ)
(東白川小学校)
教頭 今井良高(伏見小)
教諭 渡辺育也(可児郡春里小)

抱負くひひひ

今回の異動で転入された三人の先生から、東白川での抱負を語っていただきました。

質問は①出身地②前任地
③東白川での抱負です。



東白川小教頭
今井 良高
(45歳)

①可児郡可児町伏見
②御嵩町伏見小学校
③東白川は、私の生まれ故

郷。二十一世紀の教育をめざした開校に同席し感激でいっぱいです。心を開き、胸を張って強く生きる子の育成に期したい。



東白川小教諭
渡辺 育也
(25歳)

①美濃加茂市森山町
②可児町立春里小学校
③子どもたちや地域の人たちに少しでも早く慣れ、楽しく



東白川中教諭
佐橋 正典
(29歳)

生活して行きたいと思っています。どうぞよろしくお願います。

①可児郡可児町土田
②八百津中学校
③美しい自然の中で、素直な子どもたちとともに歩めることをうれしく思います。

皆様の仲間入りさせていただきます。いただいたことを自覚しがります。

(公民館図書室へ)
図書三百十五冊・書架二台
―神土小PTA

■県税納税相談コーナー
開設のお知らせ

中濃県税事務所では、可茂総合庁舎の業務開始にともない四月一日から庁舎内に県税納税相談コーナーを開設しました。

このコーナーでは納税相談・納税証明書の交付・軽油引取税免税証の交付・公給領収証用紙など関係証明書の交付―などを行っています。お気軽にご利用ください。

所在地・相談日・時間は次のとおり。

所在地

〒5055

美濃加茂市古井町下古井

字大脇2610の1

可茂総合庁舎三階

可茂県事務所総務課

電話 05742513

相談日

毎週月曜日・金曜日

時間

午前9時～午後4時

思い出残そう

越原小一年生

廃校記念にガリバー製作



越原小での思い出に「ガリバー」と越原小十年のこともたち全員で作った「ガリバー」一旧上校舎二階の家庭科室で

東白川小学校の閉校により三月いよいよ廃校になる越原小学校での思い出に、と、越原小学校の一年生が「ガリバー」を作りました。作品をガリバーに決めたのは、こどもたちの希望が多かったため。骨組みは父兄の協力で作ってもらった鉄筋製のこどもたちは、休み時間や放課後を利用して骨組みにぼろ布や新聞紙をまき付け、さらにその上に紙を張り、絵の具で色付けし約一か月かかって完成しました。ガリバーの大きさは二メートル超えるもので、ガリバー本体のほか、空びんなどを利用した船や小びなどにも上手に作られており、場所は旧越原小上校舎二階の家庭科室です。ガリバーは、三月十八日の卒業式に父兄に公開され、現在は教育委員会が管理していますが、近く保育園へ贈られる予定です。

冬も去り、暖かな春がやって来ましたが、これからお茶・田植・養蚕などの準備で忙しくなっています。ここで気をつけたいのが疲れです。これが過ぎて過労となると肝臓を悪くすることがあります。

肝臓をいたわろう
肝臓は「洗剤の臓器」といわれ、多少の障害では自覚症状は現れないため発見が遅れがちです。日常から肝臓をいたわる生活をし、肝臓病を予防してください。

暮らしと健康



肝臓病のよい食事
②バランスのよい食事を摂る。偏った食事のため、肝臓に障害を与え

重要な肝臓の働き
肝臓の働きには①栄養分を血や肉にかえる②薬や老廃物を無害なものにする③栄養分を貯える④胆汁という消化液を作る。などがあり、ひと口というならば体の中の化学工場ともいえ、たいへん重要な臓器です。

こんなときは検査を
①全身のだるさと食欲不振が続くとき。
②目や皮膚が黄色くなる。ただし、ミカンの食べすぎで手が黄色くなる場合は別
③腹部の右上に圧迫感、膨満感などを常に感じる。

④酒をほどほどに……毎日お酒を飲んでいる人は、必ず週に二日は禁酒日をつく
③クスリの乱用はつしもう……クスリの中には肝臓に害を及ぼすものもあります。安易なクスリの乱用はひかえましょう
④半年に一回は検診を……病院で検査を受けることがいちばんですが、献血でも肝機能検査をしています。献血では異常のある場合のみ連絡があります。

親子で作ろう楽しい工作

母の日のプレゼントを 作ってみよう

〈用意するもの〉

- 使えなくなった カラーフェルトペンやボールペン
- 使わないボタン
- 細い金メッキのくさり(または金・銀の細い包装ひも)
- カッター ● 紙やすり(N0.240) ● 金釘 ● とんかち

〈作り方〉

- ① カッターの刃を長めに出し、ころがしながら切る
- ② 切り口を紙やすりでまろくする
- ③ ボタンの穴を金釘で大きくする
- ④ ボタン・フェルトペンの軸切りとひとつおきにくさりに通す
はじめとおわりは ボタンにする

〈用意するもの〉

- 板きれ ● まち針
- ラッカ(茶系がよい)
- 安全ピン ● ペンチ
- 布のテープ ● ボンド ● 小刀

〈作り方〉

- ① まち針の頭の方を 針を3ミリくらいにしてペンチで切る
注意 金針の先を落しおくと危険だから布をかませてまとめて安全にすてまよう!!
- ② 板きれを好みの形・大きさにパイプでけする
- ③ ラッカーで色をぬる
- ④ ①のまち針の頭を自分でデザインした形にさす
- ⑤ ウラ側は布のテープで安全ピンをボンドでとめる

暮らしのカレンダー

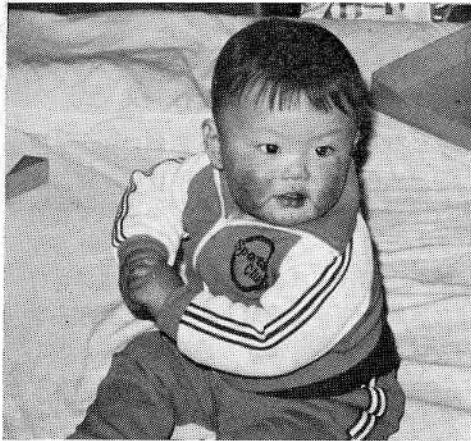
- ＊加茂郡消防操法大会**
 - ・とき 5月4日
 - ・ところ 七宗町
 ※本村から第1・第7・第11の各小型動力ポンプが出場します。
- ＊歩け歩け大会**
 - ・とき 5月5日
 - ・集合場所・時間などについては追ってお知らせします。
- ＊中央婦人教養講座**
 - ・とき 5月6日
 - ・ところ 午前9時から
 - ・ところ 村民センター
 - ・対象者 家庭婦人

- ＊妊婦学級**
 - ・とき 5月7日
 - ・ところ 午前9時から
 - ・ところ 村民センター
 - ・対象者 妊婦
- ＊小・中学生X線撮影**
 - ・とき 5月9日
 - ・ところ 小・中学校
 - ・対象者 小学校1年生
中学校2年生
- ＊犬の登録と予防注射**
 - ・とき 5月19・20日
 - ・ところ 村内15会場
 - ・費用 登録1頭1,500円
注射1頭1回1,300円

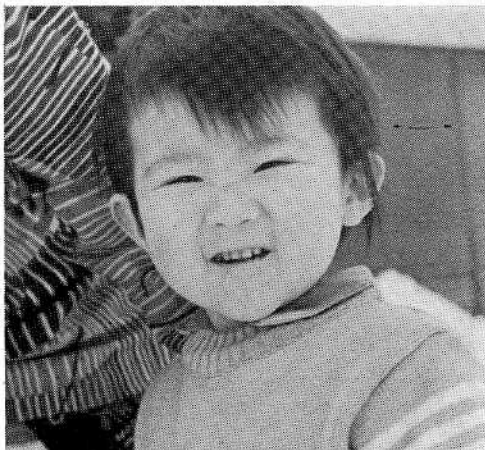
- ＊不燃物収集**
 - ・とき 5月20日
 - ・ところ 各集荷場
 ※ガラス・金物は別々に分けてお出してください。
- ＊食品業者の検便と水質検査**
 - ・とき・ところ
 - 5月29日

}	午前10時～11時30分	旧越原小学校
	午後1時30分～2時30分	村民センター
- ＊献血**
 - ・とき・ところ
 - 6月3日

}	正午～午後2時	役場前
	午後2時15分～3時	五加公民館前



今井宏和(ひろかず)くん(1歳)
宮代 今井英信・貴子さん 長男
—ボクスポーツウェアを着て“おかあさんといっしょ”のブンブンホイをやっているんだよ。
“勝負、ウソ・ホント・ウソ・ホント・ブンブンホイ”



今井哲平(てっぺい)くん(2歳3か月)
陰地 今井武司・喜代美さん 長男
—オレは哲平、よくそ行きの顔ナノダ

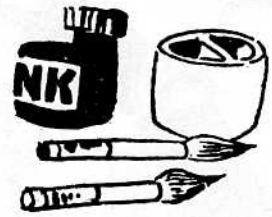
年齢制限を保育園入園前としました。
係までどしどしご応募ください。

すくすく育て

未来の主役

民俗風俗あれこれ

社会生活



—村誌編さん室だより

二 族 制

屋 号(その三)

・家の位置・方角によるもの例(本家を中心につけられる)——東屋・中屋・奥屋・西屋・西中屋・中西・南・そら・かみ・下中屋・下ノ下など
・道や橋などに関係あるもの例——辻屋・中道・長辻・峠屋・小峠・橋本・橋場・橋渡・槇橋・西橋など
・本家・分家の関係をあらわしたものの例——大家・大屋大屋敷・上屋敷・奥屋敷・畦地・しんや・あらえ・あたら

しやなど

・美しい名や縁起のよい名を選んだものの例——邦好・若松屋・千歳屋・徳原・不老屋・桜屋・松屋・きくや・菊廻舎・大黒屋・恵比寿屋・鶴屋・亀屋・栄屋など
・職業がそのまま屋号になったものの例——酒屋・かじや・紺屋(こうや)・豆腐屋・鉄砲屋・米屋・うどんや・車屋など。

三 交 際

つきあい(その一)

つきあいのことを、ギリまたはツトメともいい、純朴な

田舎(いなか)の常として親類・隣近所・部落・組などに對するつきあいは「禰(ふんどし)はかかずともギリはかくな」とまでいわれ、お互いに気をつかい、義理がたく守られてきた。

とくに共同体意識の強かった江戸時代の農村では、村づきあいが重視されていた。したがって村人の暮らしに必要な大工・桶屋・石工・鍛冶屋などの職人でも、他村から来住した者は他所(よそ)者として容易に村づきあいが許されず、一般に冷遇されるのが常であった。

▼今月の料理▲

卵とじうどん(五人分)

材料 油あげ…二枚・卵…五個・生わかめ…六十粒・青ねぎ…一本・ゆでうどん…五玉・だし汁…五ツ・しょうゆ… $\frac{1}{2}$ ツ・みりん…大さじ二
作り方 ①油あげはせん切り、わかめは三ツ長さに切る。ねぎはななめ切りにする。②鍋にだし汁と調味料を入れて煮たて①を入れ、ひと煮たちさせ、とき卵を流し入れてとじる。器にゆでうどんを入れ、汁ごとかけて食す。

豚肉の利休揚げ

豚肉二百五十粒をひと口大に切り、塩・酒・しょうゆ各少々をふりかける。肉に下味がついたら汁気を軽くとって小麦粉を薄くまぶし、とき卵にくぐらせて白ごまをまぶしつけ、中温に熱した油でからりと揚げらる。
今回はかんたん料理を二品とり入れてみました。卵とじうどんは屋敷に、豚肉の利休揚げはご主人の酒のさかかに、ぜひおためしください。



交通安全願って スクールバス初乗り

4月7日から東白川小学校へ通うこどもたちの足となる、スクールバスの初乗りが開校間近の4月1日に行われました。

初乗りには、村長はじめ議会・教育委員・学校長・PTA代表・警察官・交通安全協会長ら50人が参加。新たに購入された大型バス（こまどり1・2号）とマイクロバス（こまどり3号）に分乗し、登・下校時の安全を願って通学コースをひとまわりしました。

＝写真＝は、スクールバスに分乗し、初乗りする関係者ら

トピックス トピックス

さようなら学び舎 各小で閉校式

3月21日、神土・越原・五加の各小学校で閉校式が行われ、神土小学校では野村正校長作詞の“さらば学び舎”を全員で合唱しました。

越原小学校では、こどもたちの思いを付けた風船を空高く飛ばし、また、五加小学校ではタイムカプセルの除幕を行ったあと、その中にこどもたちの作文や書道などを入れるなど、思い出深い校舎に別れを告げました。なお、タイムカプセルは10年後の8月15日に全員そろって掘り出すことになっています。＝写真＝は体育館で行われた神土小学校の校旗退出



あなたの作品をお寄せください
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに神土田口良三宛に出してください

明治より三代を經し歴史の灯今消えむとす惜しき廃校
神土小学校廃校
幼な日に競ひて磨きし神小の松の床板今も艶めく
神土 早瀬 勇造
高校をめてたく卒へし曾孫が就職に励むその頼母しさ
神土 早瀬 重雄
百歳に近き蠅の歌読めば学び足らざる吾れを愧らふ
神土 山口とみえ
閉校し別れゆく師と学童ら一とき語る面の佗しさ
平 安江 守平
しらじらと明けゆく海辺の静けさよ寄せくる波の潮の匂ひも
中谷 小池いちの
釣りて来し魚の匂ひの漂ひて猫がまとへり吾子の休日
中谷 田口かず子
華やかな声春空にひびかせて女ら五人松苗を扱ぐ
神土 安江 幸
うつり香の漂ふごとく思ほへて繰り返し読む君が玉草
神土 加藤 公一
山畑のむしり草焼く早春の風は煙を倒し倒し吹く
神土 田口 圭二
歌成らずいらだつ吾の傍に夫はすらすら肥料設計を書く
西原 安江 澄
合格を絵馬に托して若者が見やう見真似の柏手を打つ
宮代 古田 光男
日脚伸びし午後の窓辺の明るさに針の運びも軽くはかどる
宮代 三戸 きり
窓の下に潮満ち来らし寝ねがての土肥温泉の夜は更ちゆく
下野 安江と志江
この舟は何処さ行くやら重き荷を積み重ねつつ波のまにまに
神土 山川 列
身を低く心しづめて山水のしたたる如く歌は詠むべき
田口 良三
正誤 前号早瀬きくよさんの作中選けきは遙けきの誤り